□はリンク　　※はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名　ふるさと　※

日付　平成19年12月20日

評価機関名　特定非営利活動法人 ライフサポート

評価調査員　在宅介護経験9年

評価調査員　老人保健施設介護実務経験6年、介護支援専門員経験6年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※

1．評価結果の概要

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

「利用者さんの頭の上から足の先まで、全て認知症ではない。普通の生活が一部出来ない所があるだけで、殆ど私達と同じ、普通の人です。私達以上に長い人生・立派な人生を歩まれ、高度な知識経験・豊富な特技を持っている方ばかりです。これらを伸ばしてあげたり、出来ない所を一緒にしたりするのが、私達の仕事です」

今年3月のスタッフ会議の記録の中で、このような内容を見つけ、私達の思いとこのホームの思いが、ぴったり一致していると思った。そして、今日一日の訪問の中でも、利用者と職員のやりとりの中から、又、管理者の話や書類の中から、それらが実現している事実をいくつも見つける事が出来た。例えば、「何でもする事があったら、ゆうて下さいよう」と口癖のように言って家事に勤むAさんは「人の役に立ちたい。用が済んだら家に帰りたい」という思いが強い。職員はAさんの体力を考え、疲れ過ぎない為の工夫を織り交ぜながら、意欲も大切にする支援をしている。

又、管理者の話や記録の中で「利用者の家族の協力にとても感動している」とか「家族の協力なしに、今日の行事は成立しなかったかもしれない」等、家族との絆の深さを思わせる内容にいくつか出合った。家族の理解や協力がなかなか得られないグループホームが多い中、「その秘訣は？」の私の質問に管理者は首を傾げるが、私は「ホーム設立当初から、管理者職員が仕事の枠を遥かに超えて尽くす姿勢に、家族も感謝しているに違いない」と感じた。利用者が入院した時も、スタッフが可能な限り支援に出向いたり、早期に退院して貰ってホームで特別なケアをする等、「みんな、それが当り前と思っていて、何の蟠りも無いのが嬉しい」と管理者は話している。又、県外にあるBさんの墓まで家族も同行して何度かお墓参りする等、利用者の願いを何とかして実現させたいと願い、実行しているホームである。

さらにこのホームの良い所は、同じ敷地内にある「社会福祉法人、ことぶき会」の特別養護老人ホーム宇甘川荘の存在だろう。緊急時・医療面・行事等の協力や連携だけでなく日常的な交流は、本人・家族のみならず職員にとっても、安心・安全・そして、活動の幅の広がりを提供してくれるものと思われる。

特に改善の余地があると思われる点

① 折角素晴らしい家族との関係性が出来ているのだから、今一歩前進させて「家族会」も計画し、今以上の情報交換をして頂きたい。

② グループホーム開設5年目を迎えようとしている今、今後利用者の心身の重度化も視野に入れた、次の段階でのアクティブな支援のケアプランや、利用者の生活にもう一歩踏み込んだ実践例を教示して頂きたい。

２．評価結果（詳細）

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か
記述回答	1、自主評価について･･･　特に改善項目としては挙げていないが、グループホームの職員としての仕事以上の事を常に念頭に置いている。 2、全体的に見て･･･　ホームの理念として「その人がその人らしく暮らす」為に、「自分はまだ出来る。こんな事もしたい」という気持ちを起こさせ、自分の持てる力を最大限に発揮して頂くよう、スタッフは力を合わせて努力している。「表現の方法は適切ではないけど、お付き合いが深まれば深まる程、このおばあちゃん、かわいいなあ、いとおしいなあと思います」と語る管理者･職員から、家族にも劣らない程の愛情がじんわりと伝わってきた。「家族の協力があるからこそ、ご本人さんは安定した生活が送られているのです」という管理者の話を聞いて、グループホームとしては理想的な姿ではないか、と思った。

Ⅱ 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か
記述回答	1、 自主評価について･･･　要改善項目なし。 2、 全体的に見て･･･　ホームの設計者が認知症に対して理解が深いと、これ程違うものなのかと、改めて感心させられる。利用者の尊厳･プライバシーをしっかり保とうとする配慮や、ホームのあちこちにほっとする居場所がある事、施設を感じさせない洒落た造りは、心和まされる。建物の造り手の意志をきちんと受け止めている職員は、このホームのハード面に勝る暖かいケアで、利用者の落着いた暮らしを支援している。又、各居室からは利用者本人の色合いだけでなく、その人の家族の匂いまでしてくるような気がする。「こんな家族がこの人を支えていて、今はこんな関係になっているのかな？」と想像出来る位だ。このような意味からも、なかなか他では見られないホームだろう。

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者･家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り･情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法･盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

Ⅲ ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見･対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	

記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か
記述回答	1、自主評価について･･･　項目としては挙げていないが、記録等を見ても「一寸した気付きを本人像が解る様に」等日常的に改良提案が多く見られた。 2、全体的に見て･･･　このホームの素晴らしい所はいくつも挙がられるが、その一つはスタッフと利用者のコミュニケーションの有り方ではないかと思った。記録を読みながら皆さんのお喋りを聞いていると、スタッフは利用者の話にとても上手に付き合っている。「もっと話したい」と思えるような聞き方が出来ている。利用者一人ひとりの情報をしっかり捕らえていないと出来ない事だろうし、日頃から緊密な間柄でなければ、ひょいとスタッフの膝に乗ったりもしないだろう。我が家の耳が遠い高齢の母も「お喋りは何よりのご馳走」とよく言う。お昼のお寿司も確かにご馳走だったが、お喋りのご馳走はもっと素晴らしいと私は思う。

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	

記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。
記述回答	1、 自主評価について･･･　ふるさと便りの内容を幅広く濃いものに、という改善方向は今以上の情報提供･共有が出来て、家族の理解もより深まるだろう。 2、 全体的に見て･･･　自分の持てる力を日常生活の中に少しでも発揮させたいという理念を実現し、サービスの質の向上を図りたいと、色々な角度から努力している。例えば記録の中に「フロアに何人か寄ったら、さり気なく体操を。レクの誘いかけを」が書かれていたが、今日もそういった風景が見られた。皆さん懸命な眼差しで挑戦していた。炊事の下拵え等の家事にも意欲的。このような情況を一日でも長く続けて欲しい。又、家族や地域との関係も非常に良い雰囲気と思えるので、今後は双方、良い情報も問題点もよく話し合い、知らせ合うチャンスを作っていきたい。そうすれば、お互いの絆はさらに強く、何かあっても揺ぎ無いものとなるだろう。